

第45回 公立小中学校栄養教諭・学校栄養職員研究大会 実施報告

1 趣 旨 学校給食のもつ教育的意義を深め、栄養教諭・学校栄養職員の専門職としての資質の向上を図るとともに、安全・安心で魅力ある学校給食を通して、食に関する指導の充実に努める。

2 主 催 愛媛県教育研究協議会

3 後 援 愛媛県教育委員会

4 参 加 者 112名

栄養教諭・学校栄養職員・養護教諭・管理職
保健主事等関係職員給食センター関係者

5 期 日 令和7年10月29日(水)

6 会 場 エスピワール愛媛文教会館

7 大会主題 『深めよう 心と体を育む食教育』

8 日 程

12:20 12:50 13:05

14:35 14:45

15:35 15:45

16:15 16:25

受付	開会行事	講 演 (質疑応答)	休憩	実践発表	休憩	指導講話	閉会行事
----	------	---------------	----	------	----	------	------



9 研修内容

(1) 講 演

演 題 「健康課題を抱える子どもの食支援」

講 師 独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター

栄養管理室 室長 西本 裕紀子 先生

(2) 実践発表

主 題 「児童生徒の実態に応じた食に関する指導と学校給食の管理」

発表者 松山市立桑原小学校 栄養教諭 木下 葵

指導助言 愛媛県教育委員会保健体育課 指導主事 折井 智栄

(3) 指導講話

演 題 「学校における食に関する健康課題」

講 師 愛媛県教育委員会保健体育課 指導主事 折井 智栄

10 研修報告

独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター栄養管理室 室長 西本裕紀子先生に、「健康課題を抱える子どもの食支援」と題して講演いただいた。過栄養や低栄養、食物アレルギーを有する子どもたちを支援する取組を、実践事例を交えながらお話しいただいた。病院を受診するような状態に至る前に、子どもたちのみならず、家庭への食育を浸透させ、学校としてできる限りの手立てを尽くしていきたい。

松山市立桑原小学校 栄養教諭 木下葵先生から、「児童生徒の実態に応じた食に関する指導と学校給食の管理」と題して発表いただいた。子どもたちが「おいしい」という気持ちを自覚し、感じたことを自らの言葉で表現する姿は、味覚教育における取組成果であり、食育の原点を改めて考えさせられるものだった。また、各教科等と食育を連携させた取組は、どの学校においても参考となるものであり、今後の食育活動に生かしていきたい。

今回、役員が協力・連携し、ハイブリット形式で開催したことにより、大会をスムーズに運営することができた。準備や操作等に労力はかかるが、諸事情等で参集できなくなった参加者がZoomへの参加へ切り替えることができたという利点もあることから、今後もハイブリッド形式で運営していく。